

OIE(国際獣疫事務局)リファレンスラボラトリー活動

(魚病診断・研修センター 魚病診断グループ長：湯浅 啓)

OIE(国際獣疫事務局)は動物の防疫問題を扱う国際機関でわが国を含め世界180か国が参加しています。OIEでは国際的に特に問題となる疾病について専門家として診断や研修、アドバイスを رفتり陽性対照を配布したりする「リファレンスラボラトリー(リファラボ)」を指定しており、増養殖研究所はマダイイリドウイルス(RSIV)病およびコイヘルペスウイルス(KHV)病のリファラボに指定されています。RSIV病のリファラボは世界でも当所のみであり、各国から診断法に対する問い合わせや陽性対照の配布依頼があります。一方、KHV病のリファラボはイギリスと当所の2か所にあり、当所では2015～2017年にはインドネシアとOIEの予算による研修プロジェクトを実施してき

ました。また、当所では農水省からの依頼を受け、毎年パリで開催されるOIE総会に人員を派遣するとともに、OIEからの依頼により、専門家5人からなるウイルス病に関する臨時委員会に参画しています。リファラボでは精度管理のためISO17025の取得が義務付けられており、当所はKHV病およびRSIV病の診断を対象として当該規格の認証を受けています。

2016～2017年のリファラボ活動実績

活動内容	RSIV病	KHV病
1) 検査依頼		
国内	14件	18件
海外		1件(ID)
2) 陽性対照配布		
国内	9件	40件
海外	6件(US, GB, ES, HK, IN)	5件(ID, AU)
3) 海外研修生受け入れ	3件(PH, ID, KR)	4件(ID, KR, TW)
4) メール等によるアドバイス	4件(SG, KR, US, AU)	3件(ID, KR, AU)
5) リンクゲスト主催	1件(SG)	4件(ID, JP)
6) 協同研究		1件(ID)
7) 研究発表・論文等	7件	4件

AU:オーストラリア; ES:スペイン; GB:英国; HK:香港; ID:インドネシア; IN:インド; JP:日本; KR:韓国; PH:フィリピン; SG:シンガポール; TW:台湾; US:米国

アクアレオウイルスの診断法の開発と疫学調査

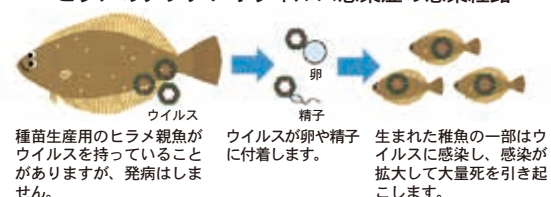
(魚病診断・研修センター 魚病診断グループ：河東 康彦)

近年、ヒラメの稚魚の全滅という大きな被害が出る病気が発生し、県の種苗生産施設などで深刻な問題となっていました。この病気はウイルスが原因と思われましたが、これまでは原因ウイルスを分離して培養できなかったため、ウイルスの特定や、迅速な診断法の開発ができませんでした。

増養殖研究所は、この病気の防除技術を開発するために、病気の原因ウイルス、感染経路などの解明に取り組みました。まず、病気の原因がアクアレオウイルスと呼ばれるウイルスであることを突き止め、原因ウイルスの分離・培養方法を開発しました。そして培養したウイルスから全ゲノム情報を解読し、こ

のウイルスだけにある遺伝子を検出できる迅速な診断方法を開発しました。さらに、ヒラメを殺さずに一滴の血液を検査するだけで過去に本ウイルスに感染していたかどうかを調べることができる検査法も開発しました。これらの診断法や検査法を用いて感染経路の解明に取り組み、種苗生産に用いたヒラメ親魚が本ウイルスを持っていて稚魚の感染源になっていることを明らかにしました。

ヒラメのアクアレオウイルス感染症の感染経路



増養殖研究レター No.7 (平成 30 年 2 月)

編集・発行：(研) 水産研究・教育機構増養殖研究所
業務推進部(大迫典久、奥村卓二、海和礼諸)

〒 516-0193 三重県会郡南伊勢町中津浜浦 422-1

TEL: 0599-66-1830 FAX: 0599-66-1962

URL: <http://nria.fra.affrc.go.jp/>